

豊橋市議会 だより

No. 305

2016年8月1日発行

平成28年6月定例会

主な
内容

6月定例会の概要……………2~3

いっぱん質問……………4~12

審議結果……………13

委員会の活動……………14

9月定例会の開催日程……………14



「さあ、次の10年へ。」

表紙写真シリーズ「ユース・アングル」

表紙写真シリーズ「ユース・アングル」と題し、市内の高校・大学の写真部等から提供いただく写真を表紙に採用することで、若者が市議会だよりを手取るきっかけづくりをしていきます。

若者が切り取る豊橋はいかなるものか、ご期待ください。

撮影とコメント

杉浦啓介さん(愛知大学写真研究会)

Q…どんな思いでシャッターを切りましたか?

A…豊橋のまちで高校生が自然体で過ごしている、そんな構図を考えました。そして、豊橋の次の未来を担う高校生と豊橋のシンボルが調和することを意識しました。

Q…とよはしについてどう思いますか?

A…人がいないと、まちは成り立ちません。若い人たちが進学などで豊橋を離れても、戻ってこられるような豊橋になってほしいと思います。その時に、若い人だけでなく、子どもからお年寄りまで、いろいろな人が交流できるまちになることを期待しています。





TOYOHASHI CITY COUNCIL

6月定例会の様子

今回の議会では、

こんなことが決まりました。

6月定例会は6月6日から17日までの12日間の会期で開かれました。

今回の定例会では、3日間にわたり18人の議員が一般質問を行いました。

次に、予算案2件、条例案3件、単行案8件の合計**13件**の市長提出議案と、市民から提出された**請願1件**、**陳情3件**について、委員会審査を行いました。

最終日の17日には審査を終了した議案をそれぞれ可決等しました。その後、委員会への付託を省略した議案1件を可決した後、**市長から6件の報告**を受けました。続いて、**追加議案2件**、**議員提出の意見書7件**をそれぞれ可決しました。

※審議結果については、13ページをご覧ください。

会議日程	
5月23日	議会運営委員会
5月30日	議会運営委員会
6月2日	議会運営委員会
6月6日	本会議(第1日)
6月7日	本会議(第2日)
6月8日	本会議(第3日)
6月9日	一般会計予算特別委員会
6月9日	環境経済委員会
6月9日	建設消防委員会
6月10日	福祉教育委員会
6月10日	総務委員会
6月13日	一般会計予算特別委員会
6月16日	議会運営委員会
6月17日	本会議(最終日)

補正予算

○平成28年度豊橋市一般会計補正予算(第3号)

○平成28年度豊橋市総合動植物公園事業特別会計補正予算(第1号)

まち・ひと・しごと創生関連事業として地方創生推進交付金を活用した地域経済の構造や労働力の需給状況の調査、分析の実施。**農業関係として**、農産物生産の収益力向上に計画的に取り組む生産者が行う施設整備に対して助成するほか、家畜ふん尿処理のための設備整備に対する助成。**子育て支援策として**、移転や増設予定の民営児童クラブ2か所の整備に対して助成するほか、法人保育所・認定こども園整備費補助金の増額。**空き家対策として**、今年度より助成を

開始した空家解体促進費補助金において、当初予算を上回る申し込みが見込まれることによる増額の補正。**消防団加入促進支援として**、女性分団を中心としたワークショップを活用した消防団のPR活動。また、篤志の方からの寄附について、意向に沿い、総合動植物公園整備基金へ積み立てるほか、豊橋みどりの協会都市緑化基金への出えんなど、一般会計1億8113万2千円の増額、特別会計41万9千円の増額、合計1億8155万1千円の増額補正をするものです。

市 税

○豊橋市市税条例等の一部を改正する 条例

地方税法等の一部が改正されたのに伴い、延滞金の計算期間の見直し、医療費控除の特例、固定資産税の課税標準の特例、軽自動車税の特例の延長等を定めるものです。

選 挙

○豊橋市議会議員及び豊橋市長の選挙 における選挙運動の公費負担に関する 条例の一部を改正する条例

公職選挙法施行令の一部改正に準じ、選挙運動用の自動車の使用並びにポスターおよびビラの作成の公営に要する経費に係る限度額を引き上げるものです。

産 業

○公有水面埋立免許について

愛知県知事より意見を求められた株式会社総合開発機構による三河港港湾区域内の公有水面埋立免許について、異議はない旨、回答しようとするものです。

産 業

○豊橋市企業立地促進条例等の一部を 改正する条例

豊橋企業立地促進条例等の一部を改正する条例
地域再生法の一部が改正されたのに伴い、規定の整備を図るものです。

工事契約

○工事請負契約締結

こじかこども園(仮称)園舎等建設工事のため3億7152万円、資源化センター3号炉の維持整備工事のため2億7972万円の契約をそれぞれ締結するものです。

市営住宅

○豊橋市営住宅条例の一部を改正する 等条例

特定公共賃貸住宅を公営型地域優良賃貸住宅(公共供給型)に用途変更するものです。

名誉市民

○名誉市民の推挙について

市勢の発展に貢献し、その事績顕著で市民の敬仰を受けている神野信郎氏を名誉市民に推挙するものです。

物品購入

○物品購入契約締結

議場会議システムの更新のため2073万6千円、東部環境センター等に配置されているごみ収集車等の更新のため6195万8568円、中消防署東分署に配置されている特殊化学消防ポンプ自動車の更新のため5467万2700円、中消防署石巻出張所に配置されている特殊消防ポンプ自動車の更新のため3280万8300円、豊橋競輪場に設置されている映像・音声サービス情報機器の更新のため2800万円の契約をそれぞれ締結するものです。



市政全般に対する

いっぱい質問

18人の議員が、市長に質問しました。

高齢者社会参加援護事業

紡基会
寺本泰之議員

について



問 高齢者社会参加援護事業として実施している高齢者タクシー料金助成乗車券は、利用実績に応じた精算払いであるが、電車・バス共用福祉回数乗車券では交付予想枚数を基にした事前の買い取りとしている。タクシー乗車券と同様の利用実績に応じた支払いにできない理由を聞きたい。

答 タクシー乗車券については、毎月タクシー会社からの利用実績に応じた請求に基づき精算払いをしています。

一方、電車・バス回数乗車券については、年度当初に交付予想枚数を券面額の8割で購入し、郵便局等で引き換えされずに残ったものは年度末に精算しています。その理由としては、路線バスでは回数乗車券を運賃と同様に運賃箱に投入すること。また、本市だけでなく近隣市も同様の事業を実施していることから、利用実績を集計する作業が大変困難で

あり、事業者との協議の中でも、路線バス全路線で使用された乗車券を集約・選別し集計する作業と、それに伴う人件費の捻出が課題であるとのことでした。

このような理由から、現行の手法を採ることとしています。が、高齢者社会参加援護事業の目的達成および予算の効率的な執行の観点から引き続き勉強していきます。

用語解説

※高齢者社会参加援護事業
高齢者の外出支援・地域活動への積極的な参加を促すことを目的に、電車・バス共用福祉回数乗車券およびタクシー料金助成乗車券を交付している。

○対象 70歳以上の方

その他の質問項目

・情報公開と行政の説明責任について

児童相談所設置に対する

考え方について

自由民主党豊橋市議員
杉浦正和議員



問 児童福祉法が改正され、その中で施行後5年をめぐるとして、中核市・特別区が児童相談所を設置できるよう、その設置に係る支援等の必要な措置を講ずるとある。本市も中核市に該当するが、情報共有を更に密にするための児童相談所の設置に対する本市の考えについて聞きたい。

答 児童相談所の設置については、中核市市長会でも大変大きなテーマとなっており、前向きに取り組んでいきたいと考えています。

先般、塩崎厚生労働大臣と直接意見交換を行い、財源の問題、人材育成の問題、そして広域連合をつくっていることもあり、中核市単独ではなく一定の地域を管轄エリアとする児童相談所の持ち方について意見を表明しました。大臣からは、前向きに取り組んでいきたいと回答をいただきました。

しかし、財源など多くの問題を抱えているため、中核市市長会と二緒になって考えていき、広域連合の中ではさらなる議論を深めていく必要があると考えています。

また、市民病院、警察署、学校、教育委員会や保健所などからの子どもの情報を束ねて共有し、最適な答えが出せるような、大きな支えとなることのできる児童相談所としていきたいと考えており、皆様方の御理解と御指導を改めてお願いしたいと思います。

今後は、中核市を中心にということにはなりますが、積極的にこの問題に対処していきたいと考えています。

その他の質問項目

・人口減少・少子高齢化問題を抱える郊外集落市街化調整区域のまちづくりについて

いっばん質問とは?!

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。

今回のいっばん質問で、あなたの生活にかかわる内容はありますか？



今号で取り上げた一般質問の全ての内容を動画で視聴できます。市ホームページの「市議会」から「インターネット映像中継」を検索してご覧ください。

大規模災害時に備えた

減災対策について

公明党豊橋市議員 沢田都史子議員



問 飲料水の確保について、最新式の浄水装置を備えた「もう一歩」の安心の備えを進めることへの認識と対応について聞きたい。また、市民病院における設備診断および部分免震を含めた免震構造に対する認識と対応について聞きたい。

答 飲料水については、複数の対応策を組み合わせることで、想定される避難者に対して、十分な量を確保しています。しかし、道路状況や輸送の制約などにより、必要なときに必要な場所へ搬送できないことも想定されます。対応策として、その場で簡単に水を浄水できる「ろ水器」のような装置を、今まで以上に多くの拠点に配置しておくことも有効だと考えています。現在、浄水装置の性能が向上し、安価でさまざまな機能を持つ機器が流通していることから、運用する場面を想定し、機器や配置

する場所などについて勉強していきたいと考えています。

また、病院における設備診断については、地震災害の観点から専門家が総合的に建物以外の設備耐震等について評価するものであり、一部の大学病院などで実施しています。市民病院も建設から20年が経過しているため、先進事例の情報を得ながら実施に向けて勉強していきたいと考えています。

部分免震は、近年、固定式の医療機器などを中心にさまざまな手法の開発が進む一方で、手法によっては、利便性の面で若干の問題があると認識しています。現在の施設内への導入は難しいと考えますが、今後、建設を予定している手術センター棟内の医療機器等については、利便性も考慮した上で総合的に判断していきたいです。

本市における

防災対策について

自由民主党豊橋市議員 近藤修司議員



問 災害時、建築物倒壊や家具転倒による圧死や窒息死を防ぐための、住宅の耐震化と家具の固定について、また、リ災証明書発行の遅れが生活再建の足かせとならないよう、被災した建物のリ災証明の基礎となる被害認定の目的と基準、的確性について聞きたい。

答 本市の住宅の耐震化率は、推計による数値では、平成27年4月で90.5%となっています。大規模地震時の被害を軽減するために、補助制度の周知を含めた耐震の啓発に努めていきたいと考えています。家具の固定については、各家庭における家具などの転倒防止対策の普及啓発を重視し、防災ガイドブックを用いた防災講話や広報とよはしなどへ記事の掲載を行うとともに、高齢者のみ、または障害のある方がいる世帯に対する家具固定の支援、消防職員による戸別訪

問での調査など、積極的に取り組んでいます。

り災証明についてですが、被害認定の目的は二つあり、一つは、速報性の観点から災害の現況を迅速かつ的確に把握し、初動対応を行うための情報の目安として活用するためであり、もう一つは、的確性の観点から被災者の各種支援策の適用判断材料として、主にり災証明の発行業務などに活用するためです。また、被害認定基準については、損害割合に応じて四つの区分で定めるとともに、その的確性については、証明・義援金班行動マニュアルを整備し、実際に被害認定業務に従事した職員の意見等をフィードバックするなど、マニュアルの実効性を高め、被害認定の的確性の向上に努めていきたいと考えています。

LGBT等に関する

現状と対応について

豊橋たいすき会

長坂尚登議員

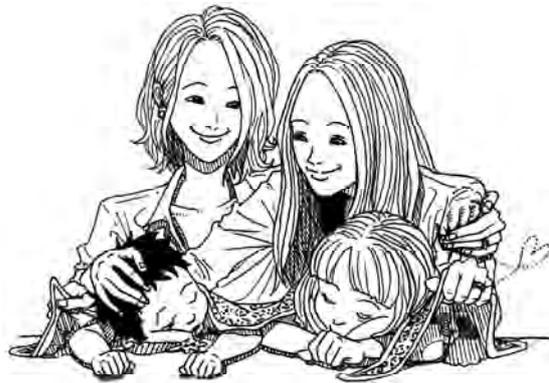


問 LGBT等セクシャルマイノリティーの方々が、豊橋市にどれほど暮らしているか。そして、さまざまな性を含む多様性に寛容になることは、LGBT等の当事者だけでなく、地域経済の発展等、まちづくりの観点からも重要と認識しているか。その上で、今後の対応について聞きたい。

答 ある研究によるとLGBT層の比率は、男性1・0%、女性2・0%という結果が出されており、ある大手民間企業による全国エリアを対象とした調査によれば、7・6%と算出されました。これを本市の人口で計算すると、1・0%であれば3800人、2・0%であれば7600人、7・6%であれば2万8880人となります。

性別、年齢、国籍などにとらわれない、多様性を認め合う社会は、誰もが住みやすい社会であり、まちづくりの観点から見ても重要な考えであると

認識しています。そのような認識のもと、先進事例の研究やアンケート調査などを実施する中で、どのように対応していくべきかを勉強していきたいと考えています。



その他の質問項目

- ・小学校などの維持管理などにかかる費用等について
- ・小学校数と児童数の推移について
- ・保育園などの費用等について
- ・ユニチャ跡地について
- ・「JK広報室」について

豊橋市の

男女共同参画について

まちフォーラム

星野隆輝議員



問 男女共同参画を更に推進するために、これまでの男性に対する取り組みから見えてきた課題と今後の進め方について聞きたい。

答 男性への取り組みから見えてきた課題と今後の進め方については、壮年層の男性の固定的性別役割分担の意識が依然として根強く残っているものと考えられます。そのため、壮年層をターゲットにした講座内容を充実させ、男性意識の改革を図っていくことが最も重要であると考えています。加えて、次世代を担う、子どもや若い子育て世代への取り組みも、関係各課が連携し継続的に実施をしていきます。

女性活躍推進法への対応については、同法第6条第2項に定められる「市町村推進計

画」を策定していきたいと考えています。策定に当たっては、男女共同参画審議会に諮り、専門家や学識経験者など幅広く議論いただくとともに、市議会からも意見を伺いながら、本年度と来年度の2か年で作業を進め、平成30年度よりスタートする次期男女共同参画行動計画と一体として、策定をしていきたいと考えています。

用語解説

※女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)

女性が、職業生活において、その希望に応じて十分に能力を発揮し、活躍できる環境の整備を目的に平成27年8月制定。平成28年4月1日から、労働者301人以上の大企業は、行動計画の策定などが義務づけられる。

本市における

空き家対策について

自由民主党豊橋市議員 小原昌子議員



問 空き家対策が全国的な課題となっている中、本市では、空き家のサンプリング調査、相談窓口の一本化、空家バンクの開設に加え、空家等対策計画の策定に向けた空家実態調査を昨年度実施しているが、調査結果の分析と今後の対応について聞きたい。

答 対象となる899件に対し、アンケート回収率58.1%にあたる514件について分析したところ、実際に住んでいないものが約8割、そのうち約半数の198件が利用していない空き家でした。

空き家になった理由として「入居者が退去」「賃借人募集中」など賃貸用物件が約3割、次いで「転居・転勤による不在」「相続後未使用」などとなりました。198件のうち「管理していない」ものは約2割あり、その9割弱の居所が市内であることが傾向として現れています。活用については、利用してい

ない空き家198件のうち「貸したい」「売りたい」という希望が半数以上、「解体したい」というものも2割以上ありました。

また、空き家対策の推進については、「市からの補助金」「税制度の検討」「専門業者の紹介」など市の支援が必要との意見が多くありました。これらの結果より、空き家の適切な管理と活用の促進のため、支援制度充実が必要であると分析しています。

今後の対応としては、空家バンクや適切な管理への指導、空き家解体補助の施策を継続するとともに、調査結果を踏まえ、空家等対策協議会や市民から意見をいただきながら、対策を総合的に進めるための計画を策定していきます。

その他の質問項目

本市初となる道の駅の取り組みについて
ごみ分別制度変更に伴う現状と対応について

今後の豊橋市における

震災対応について

無所属 川原元則議員



問 熊本地震は震度7前後の地震が2回続き、余震が1600回を超えていることから、これまでの震災対応では難しいと考えられるが、高校生を対象とする災害ボランティアコーナー・ディネーター養成講座の実施について、また準避難所の指定に対する市の認識について聞きたい。

答 被災地におけるボランティア支援のうち、特に若い世代によるサポートは、被災者をはじめ多くの人々の心を和ませ、復興に向けた大きな支えになるものと認識しています。

現行の災害ボランティアコーナー・ディネーター養成講座は年1回、2日間の日程で高校生以上を対象として実施していますが、これまで高校生の参加は多くありませんでした。そこで、まずは市内12高校に直接出向いて参加を促すとともに、参加者アンケートなどを参考に、若い世代が参加しやすい

周知方法や、若者向けプログラムを検討するなど、今後、高校生が受講しやすい環境を整えていきたいと考えています。

また、準避難所の指定については、指定避難所以外のどの場所に、どの程度の避難者が避難しているかを把握することは、被災者への公平な支援を行う上で大変重要であり、避難者の全体像を正確かつ速やかに把握するための仕組みづくりが必要であると認識しています。準避難所は、避難者の把握を行う上で大変有効な手法と考えますが、何より自主防災組織をはじめとする地域住民の理解と合意が重要であることから、位置づけや指定方法など、今後勉強していきたいと考えています。

その他の質問項目

「特別警報」発表時における本市の対応と市民への啓発について

介護弱者に対する

豊橋市の対応について

日本共産党豊橋市議員 鈴木みさ子議員



問 介護保険制度発足当初と比べ、介護保険料は2倍近くに増大している。本市における介護保険料の収納状況と滞納世帯への対応について、また、昨年8月から特別養護老人ホームへの入所対象者が要介護3以上に引き上げられたが、要介護1・2の特列入所の実績について聞きたい。

答 介護保険料の収納状況については、平成26年度実績として、現年度分の収納率は98.29%、滞納繰越分は9.58%、全体としては95.79%となっています。

滞納者への対応としては、2年以上前の介護保険料に未納分があった場合、滞納期間に応じて保険給付の制限などを受けることになり、現在、49名の方が本来1割、または2割の自己負担率が3割と、高額介護・高額医療合算、特定入所者サービス費においても制限を受けているところです。今後も納

め忘れ等により保険給付の制限などを受けないよう、督促状や催告書の発送だけでなく、早期の電話催告なども丁寧に行い、収納率の向上に努めます。

また、特別養護老人ホームへ特列入所された方の実績ですが、居宅において日常生活を営むことが困難なことにについて、やむを得ない事由がある方は、要介護1・2でも、施設ごとに設置されている入所判定委員会の判定を経て入所が認められています。本年6月現在の状況として、制度改正以降に特列入所されている方は、市内18施設全体で6名となっています。

その他の質問項目

・豊橋総合動植物公園における諸課題について

本市の薬事全般に関する

考え方について

自由民主党豊橋市議員 近藤喜典議員



問 地域包括ケアシステムの一翼を担う、かかりつけ薬剤師・薬局と、お薬手帳の活用について、本市の認識を聞きたい。

答 地域包括ケアシステムにおけるかかりつけ薬剤師・薬局の役割は、総合的な医療・介護サービスを提供する一員として、患者ごとに服薬状況を三元的・継続的に管理し、薬の飲み残し、いわゆる残薬を解消すること、複数の医療機関から同じ薬を処方される、いわゆる重複投与を防ぐことが重要な役割であると考

また、お薬手帳の活用について、複数の医療機関を受診する患者や、在宅医療を受ける患者の増加により、高齢者が自分で薬を管理することが増える一方、薬の管理の難しい方が多いと聞いています。

そこで、豊橋市薬剤師会の協力を得ながら、かかりつけ薬剤師・薬局を担っていただく薬局を開設する事業者への講習会を開催し、体制の整備に努めるとともに、市民の方へは健康づくりに関立つ存在として、出前講座の開催や街頭啓発活動などの充実を考えています。

患者の服薬状況を二元的に管理するため、お薬手帳を有効的に活用することが重要と考えていますが、高齢者においては手帳を複数持っている、若年層においては有効性を実感できず手帳を持たない方が多いなど、手帳が十分活用されていないと認識しています。

かかりつけ薬剤師・薬局の普及とあわせ、豊橋市薬剤師会と協力しながら、お薬手帳の普及・活用に努めていきます。

その他の質問項目

・豊橋市の障がい者の地域移行支援の考え方について

放課後児童対策について

自由民主党豊橋市議員

中村竜彦議員



問 放課後児童クラブの夏休み限定利用は定員に余裕がある場合のみに限られるため断られるケースがある。また、土曜日の開始時刻は朝7時30分であるが、夏休み中は8時となっている。夏休み限定利用の改善と、夏休み中の開始時間30分繰り上げについて市の考えを聞きたい。

答 放課後児童クラブ事業は、もともと通年利用を対象とした制度ではありますが、夏休みのみの利用については、現在、施設に余裕のあるクラブでは、校区内だけでなく、校区外の児童の受け入れも行っています。

児童クラブの夏休み限定利用については、既存の児童クラブを拡大して対応する場合、あるいは別の場所で夏休み期間に限定した児童クラブを新たに開設する場合が想定されますが、いずれも適切な場所と人材の確保という点で大き

な課題があるものと考えています。

また、朝7時30分に受け入れ開始時刻を繰り上げる件についても、要望としてこうした声があることは承知をしています。ただ、夏休みは支援員の勤務体制が通常とは異なる上、多くの支援員は家庭を持つ女性であり、繰り上げ実施により支援員の負担が増えることとなります。今でも、支援員の確保に大変苦慮している中、負担を伴う勤務条件の変更でもあるため、支援員ともよく調整し、その可能性について検討していきたいと考えています。



その他の質問項目
本市の高齢者支援策について

本市における

発達障害児の支援について

自由民主党豊橋市議員

市原亨吾議員



問 こども発達センターは各事業において利用者が年々増加しているが、現在の診療予約状況と課題および受診待ちの保護者に対してどのような対応をしているのか。また、発達障害児を支援するためにどのような取り組みをしているのか聞きたい。

答 受診を希望する理由は、他の医療機関、乳幼児健診後からの紹介、保育所・幼稚園や学校からの勧め、子どもの発達の遅れが心配になったなど、さまざまなケースがあり、子ども

の様子などを聞き取りの上、診療の予約を行っています。こども発達センターの認知度が高まったことで、受診希望者が増加していることなどから、小児科、児童精神科の初診の予約待ちが6か月強となっており、受診待ちが長引いていることは課題であると認識しています。

そこで、受診待ちの保護者の

子育ての困り感や不安を和らげるために、随時専門職が相談に応じているほか、2か月に1回、小児科医であるセンター長による子育て相談会を開催し、子どもへの接し方を学ぶ機会を設けています。医師の確保は専門医が不足しているなど困難な状況ではありますが、受診待ちが長引かないよう、医師確保に努めていきたいと考えています。

また、発達障害児支援のための取り組みとして、こども発達センターの医師、臨床心理士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など、専門職が講演会、研修会、ケース検討会などを開催しながら、保育士、教員の支援力向上に努めています。

その他の質問項目
こみ減量の取り組みの考え方について

新教育長の教育理念と

「ビジョン」について

自由民主党豊橋市議員

伊藤篤哉議員



問 新教育長の教育理念・教育ビジョンから「不易の教育」と「流行の教育」、地方創生を踏まえた「未来へつなぐ」教育について聞きたい。

答 子どもに寄り添い、限らない可能性を引き出し、生きる力を育むことこそ、どこまでも子どもを中心に据えた

「不易の教育」であり、いつの時代においても変わることのない教育の根幹であると考えています。それゆえ、子ども一人一人を常に見つめ、育つてきた生活背景や能力を十分に教師が理解し、個性に応じたきめ細やかな教育を推進しなければなりません。また、本市が今まで取り組んできた英語教育のように、先を見据えた「流行の教育」を講じる必要があります。

人口減少が現実のものとなった今、将来にわたり持続的に発展していくため、学校を核とした地域ぐるみの教育

を基盤とし、特色ある学校づくりや地域教育ボランティア制度の推進により、子どもの学びのフィールドを学校から地域へと広げること、学校・家庭・地域の三者がともに力を合わせ、子どもを育てる風土が醸成されてきています。

また、子どもの頃から地域の歴史や伝統文化、地元で生きる人々などを教材とした郷土学習や、地元で活躍する職業人から生き方を学ぶキャリア教育などを推進し、ふるさと豊橋を誇りに思う気持ちと愛着心を育てていきます。

これらの学びを通して育った子どもたちが、やがて豊橋に住み、地域社会を支える新たな担い手となって活躍し、本市の「未来へつなぐ」教育を推進する力となってくれるよう教育施策を展開してまいります。

公共施設内外の

渋滞への対応について

自由民主党豊橋市議員

尾崎雅輝議員



問 ライフポートとよはしとアイプラザ豊橋施設内外の渋滞について、現状認識と対応を聞きたい。また、ライフポートとよはしについては、駐車場利用者の地震災害時の避難の在り方を、アイプラザ豊橋については、都市計画道路等との関係を踏まえた将来的な展望を併せて聞きたい。

答 ライフポートとよはしの渋滞は、イベント終了時の一時的な混雑と認識しています。対応として、誘導員の配置とともに、必要に応じて県道への出口を2か所に分けて誘導を行っています。

地震災害時の避難の在り方については、津波浸水区域に該当していないこと、また建物自体が津波避難ビルに指定されていることから、慌てて帰るよりは建物の中で一時避難することが最も有効であると考えています。

アイプラザ豊橋の渋滞は、国

道259号および周辺道路で発生しており、公共交通機関の利用促進、誘導員の配置および臨時駐車場の借用などの緩和策を行っていますが、渋滞の解消には至っていません。引き続き対応策を模索していきます。

将来的な展望ですが、当地区に関しては、国道259号の拡幅をはじめ、他の都市計画道路の再編や早期整備、渥美線の踏切の解消、商店街の活性化、民間の大規模開発などさまざまな課題があるため、南栄地区全体のまちづくりの一環として捉えていくことが重要です。

国や県、学識経験者などにも協力を得ながら、将来におけるまちづくりの方向性や整備手法などについて、速やかに検討していきたいと考えています。

その他の質問項目

・市長公約等の実施に係る評価と今後の取り組みについて

公共施設マネジメント

について

自由民主党豊橋市議団

堀田伸一議員



問 人口予測、財政見直し、地域ニーズや各公共施設の維持管理費、利用状況、老朽度のデータが集約されたあるがままの姿を「見える化」することができ、市民の理解に結びつく公共施設白書および固定資産台帳の整備状況とプールを含めた学校施設等の効率的な運用について聞きたい。

答 公共施設白書は、平成28年度決算の状況を反映して、平成29年度の公表を予定しています。

また、固定資産台帳については、平成28年度決算からの新地方公会計への移行に合わせ、平成27年度より2か年の予定で整備を進めています。

学校施設等の効率的な運用については、これまでも学校施設を地域に開放したり、空き教室を児童クラブや少人数指導等に活用してきましたが、現在、有識者等で構成する教育課題検討会議の場におい

て、人口減少に対応した学校の在り方について、まちづくりの視点を持って、統廃合を含めた検討を進めています。今後増加していく空き教室についても、教育活動の更なる充実、あるいは防災等、地域における活用を踏まえつつ、他の公共施設等との複合化による活用を検討しています。

プールについては、小学校では1年のうち、現状、約2か月の稼働にとどまっております。他の自治体では、複数の小学校で一つのプールとする事例、また、プールを保有せず、民間施設を利用する事例も見受けられ、これらも今後の課題と捉えています。

その他の質問項目

・本市における0～2歳児の保育について

幼・小・中・高の

学校間連携について

自由民主党豊橋市議団

一村真一議員



問 子どもの進学時における過度な生活環境の変化等が心のストレスとなり、学校生活への適応障害や不登校の原因となることが言われているが、その解消に向けた対策や学校間の連携、切れ目のない教育実現について聞きたい。

答 本市では教育委員会が所管する幼年期教育研究委員会を中心となり、各小学校に入学する子どもの情報を夏休み前までに把握するシステムを構築し、早期より情報交換を行っております。とりわけ特別な教育的配慮を必要とする子どもについては、入学前から保護者とともに個別の教育支援計画を策定し個々の子どものニーズに応じた支援に取り組んでいます。

中学校においては学習環境変化へのスムーズな移行を目指し、小学校時より一部の教科での教科担任制の導入や、子どもへの満足度を測るアンケートを

実施するなどして、不登校対策に取り組んでいます。また、高校進学が最終目標とならぬようキャリア教育や進路指導を継続的に行っています。

いずれにしても、教育は、人格の完成と平和で民主的な国家、社会の形成者育成の営みであり、義務教育の期間だけでなく、長いスパンで二人の子どもの成長に関わることが重要だと考え、さまざまな施策を講じています。さらに、子どもたちの連続した学びや山積する教育課題への対応として、今年度より「教育監」を設置し、その知識や経験、ネットワークを生かし、さらに一歩踏み込んだ校種間連携教育の実現に向けた施策の企画立案に取り組んでいきたいと考えています。

市民病院の選定療養費の

扱いについて

日本共産党豊橋市議員

齋藤 啓議員



問 市民病院の選定療養費54000円の目的について聞きたい。また、病院を選べない状況である救急搬送時や、学校や保育園などからの救急搬送時を、選定療養費の対象としている考え方を聞きたい。

答 選定療養費の目的の二つは、地域医療連携の推進であり、二つ目は外来待ちの時間の短縮です。特に地域医療連携の推進については、かかりつけ医への受診を促進し、かかりつけ医から当院への紹介受診を推進することにより、地域の医療機関としての役割分担、相互連携を推進し、当院が急性期病院として専門的な治療に当たります。

また、救急搬送を選定療養費の対象としている考え方が、救急医療の確保を図る観点から、受診後に入院となった場合を除き負担の対象としていません。これは平成22年5月より、かかりつけ医を持つこと

の推進を図ることと、コンビニ受診の抑制を目的として、救急外来を選定療養費の負担対象としているものです。

また、救命救急センターでは、患者の待ち時間の短縮を図り、重症患者に特化した急性期の医療を提供できるように、機能を維持する必要があります。

今後については、今年2月の中央社会保険医療協議会総会において、診療報酬改定に関する答申書附帯意見の中で「導入の影響を調査・検証し、引き続き検討すること」とありますので、国の動きを注視しながら当院等への影響について、把握・分析していく必要があると認識しています。

その他の質問項目

・豊橋の教育現場における諸課題への教育長の所信について
・指定こみ袋導入に当たつての課題と対応について

18歳選挙権実施に伴う

取り組みについて

日本共産党豊橋市議員

中西光江議員



問 公職選挙法等の一部を改正する法律の成立に伴い、選挙権を有する者の年齢が満18歳以上に引き下げられた。参議院議員選挙の日程が決まり、いよいよ18歳選挙権実施となるが、本市における若者への政治参加を広げる取り組みについて聞きたい。

答 若者の政治参加を広げるためには、まず選挙に参加してもらい、政治への意識を高めることが重要であると考えています。本市では、新有権者となる18歳、19歳の方は、おむね7500人となりますが、若者に対する働きかけとして、本年3月には高校生を対象に模擬投票を行う選挙出前トークを実施したほか、市内の高等学校の卒業式に合わせ、リーフレットを配布するなど、啓発活動の強化を図ってきました。

さらに、今回の参議院議員通常選挙では、若者の政治選挙への関心を高め、また若者

目線のアイデアで同世代の共感を呼ぶことを目的に市内3大学の学生で結成した「豊橋選挙サポーター」による街頭啓発などのPR活動を行うとともに、期日前投票を豊橋創造大学において実施するなど、若者に選挙を身近に感じ、政治・投票への関心を高めようと取り組んでいます。

豊橋選挙サポーターの今後の活動として、選挙のないときには、小・中・高等学校で実施する選挙出前トークの企画および参加、また入学式等各種イベントで使用する選挙啓発リーフレットの作成、配布などの啓発活動を行ってみたいと考えています。

また、大学での期日前投票所の設置は、選挙への関心を高める機会ともなるため、秋の市長選挙の実施に向けて各大学と調整をしていきたいと考えています。

平成28年6月定例会 審議結果

○ 賛成 × 反対

議案名	議決結果	会派名 ()は所属議員数						
		自由民主党 (21)	公明党 (5)	まちなフォーラム (4)	日本共産党 (3)	紘基会 (1)	豊橋だいき会 (1)	無所属 (1)
補正予算 ・平成28年度豊橋市一般会計補正予算(第3号) ・平成28年度豊橋市総合動植物公園事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
条例 ・豊橋市議会議員及び豊橋市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	×	○	○
例 ・豊橋市市税条例等の一部を改正する条例 ・豊橋市企業立地促進条例等の一部を改正する条例 ・豊橋市営住宅条例の一部を改正する等条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
その他 ・公有水面埋立免許について	可決	○	○	○	×	○	○	○
議員提出 ・工事請負契約締結(こじかこども園(仮称)園舎等建設工事) ・工事請負契約締結(3号炉維持整備工事) ・物品購入契約締結(議会会議システム) ・物品購入契約締結(ハイブリッドごみ収集車) ・物品購入契約締結(災害対応特殊化学消防ポンプ自動車) ・物品購入契約締結(災害対応特殊消防ポンプ自動車) ・物品購入契約締結(豊橋競輪場映像・音声サービス情報機器)	可決	○	○	○	○	○	○	○
議員提出 ・議決事項の変更について ・名誉市民の推挙について ・浜松三ヶ日・豊橋道路の早期実現を求める意見書 ・名豊道路(豊橋バイパス・豊橋東バイパス4車線化)建設推進に関する意見書 ・次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書 ・骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書 ・学生が安心して使える奨学金制度を求める意見書 ・核兵器廃絶に向けた国際的な核軍縮・不拡散の強化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○
議員提出 ・設楽ダム建設事業の推進についての意見書	可決	○	○	○	×	×	○	○
請願 ・「TPP協定を国会で批准しないことを求める」意見書を国会衆、参議長に対し送ることを求める請願	不採択							
陳情 ・憲法をいかして働く者の権利を守り、住民生活の向上、平和施策の充実を求める陳情 ・豊橋市まちな図書館(仮称)実施設計(素案)策定に向けての陳情 ・旧生活家庭館の平成30年度の存続に関する陳情	当局において慎重に検討し、処置されるよう要望することに決定。							

目の不自由な方のために、市議会だよりの点字本のほか、内容を録音したCD・カセットテープを無料でお渡ししております。高齡などで活字が読みづらいという方でも、ご利用ください。

お問い合わせ 議会事務局 議事課

TEL 51-2920 FAX 55-9020

Email gikai-giji@city.toyohashi.lg.jp



委員会の活動

委員会では、議案の審査だけでなく、市民生活に深くかかわる課題について調査・研究を行っています。

今回は、付託された議案等の審査の他に、今年度、調査・研究を進めていく事項と、各委員会が関係する事業の現況を調査する「管内視察」の視察先を決定しました。

福祉教育委員会 6月10日開催

調査研究事項

- ・豊橋市斎場再整備計画について
- ・豊橋市いじめ防止基本方針の策定について
- ・第2次豊橋市民病院改革プランの改訂について

管内視察 8月18日(木)

- ・豊橋市美術博物館
- ・前芝学校
- ・商家「駒屋」
- ・豊橋若草育成園

総務委員会 6月10日開催

調査研究事項

- ・公共施設等総合管理計画の策定について
- ・豊橋市地域強靱化計画の策定について

管内視察 7月1日(金)

- ・田原市(田原市国土強靱化地域計画)
- ・防災ひろば
- ・北部学校給食共同調理場

建設消防委員会 6月9日開催

調査研究事項

- ・豊橋市地域公共交通基本条例(仮称)について
- ・豊橋市立地適正化計画について
- ・道の駅の整備について ※連合審査
- ・空家等対策計画について

管内視察 7月6日(水)

- ・南栄給水所
- ・二川宿景観形成地区
- ・中消防署
- ・豊橋駅前大通三丁目地区優良建築物等整備事業

環境経済委員会 6月9日開催

調査研究事項

- ・農業委員会組織・制度改革について
- ・道の駅の整備について ※連合審査
- ・指定ごみ袋制度の実施状況について

管内視察 7月22日(木)

- ・豊橋花田水素ステーション
- ・バイオマス資源利活用施設
- ・豊橋競輪場
- ・海フェスタ東三河

会議録をご覧ください。

会議録が置いてある場所

・市役所「じょうほうひろば」

・中央図書館

・市民センター

(カリオンビル)

・議会図書室

・市議会ホームページ

(<http://www.kaigiroku.net/kensaku/toyohashi/toyohashi.html>)

9月定例会の開催日程(予定) 会期:9月5日(月)~30日(金)

月日	時間	会議	場所
9月 5日(月)	10時	▶▶▶ 本会議(一般質問など)	議場 (西館8階)
6日(火)	〃	▶▶▶ 〃	
7日(水)	〃	▶▶▶ 〃	
	散会後	▶▶▶ 一般会計予算・決算特別委員会(正副委員長互選)	
14日(水)	10時	常任委員会(議案審査など)	第2委員会室 (西館7階)
15日(木)	13時	〃	
	10時	〃	第1委員会室 (西館7階)
	13時	〃	
16日(金)	10時	一般会計予算特別委員会(補正予算審査など)	第1委員会室 (西館7階)
20日(火)	10時	決算特別委員会(決算審査など)	第1委員会室 (西館7階)
21日(水)	〃	〃	
26日(月)	〃	〃	
27日(火)	〃	〃	
30日(金)	10時	本会議(議決など)	議場 (西館8階)

※日程は変更になる場合もありますので、傍聴の際には議会事務局(51-2920)までお問い合わせください。

議会を動画で見よう。

▶▶▶ マークの日に、インターネット、ケーブルテレビで、本会議の中継を行っています。また、過去のものはインターネットで録画配信しています。

議会に参加しよう。

豊橋市議会に対して、陳情等を提出することができます。お手続きに関しては、議会事務局議事課(電話51-2920)へお問い合わせください。

議会を見よう。

豊橋市議会では、皆さんの傍聴をお待ちしております。傍聴をご希望の方は、議会開催日に、豊橋市役所東館7階の議会事務局窓口までお越しください。

議会を読もう。

豊橋市議会だよりは、2月、5月、8月、11月に発行します。是非、皆さんの生活にかかわる議会の活動を知る時間にしてください。